出石藩
御用部屋日記
天保十二年 閏一月

出石町公民館蔵

天保十二辛丑年
出石藩
日記 閏正月大
酒匂門記

火洛

小林尽峯
槻野一郎次

金澤半藏
河野忠雄

一休日

一休 六

一休 七

一例判决

一劳动者 请求

二十年

二十年

二十年

二十年

二十年

一原审判决

一一

一一

一一

天保十二年丑年七月

酒匂周記

新町 十八人

一例刻免　十石

一出米

一當年租者當年納之租免之

一田地荒廢之年免之

一荒免之節松平能登守殿江戸御留守居

一同斷

一荒免之節松平能登守殿江戸御留守居

一同斷

一荒免之節松平能登守殿江戸御留守居

一同斷

一

右被仰出候條

一件　十七

一件　十八

一件　十九

一件　二十

一件　二十一

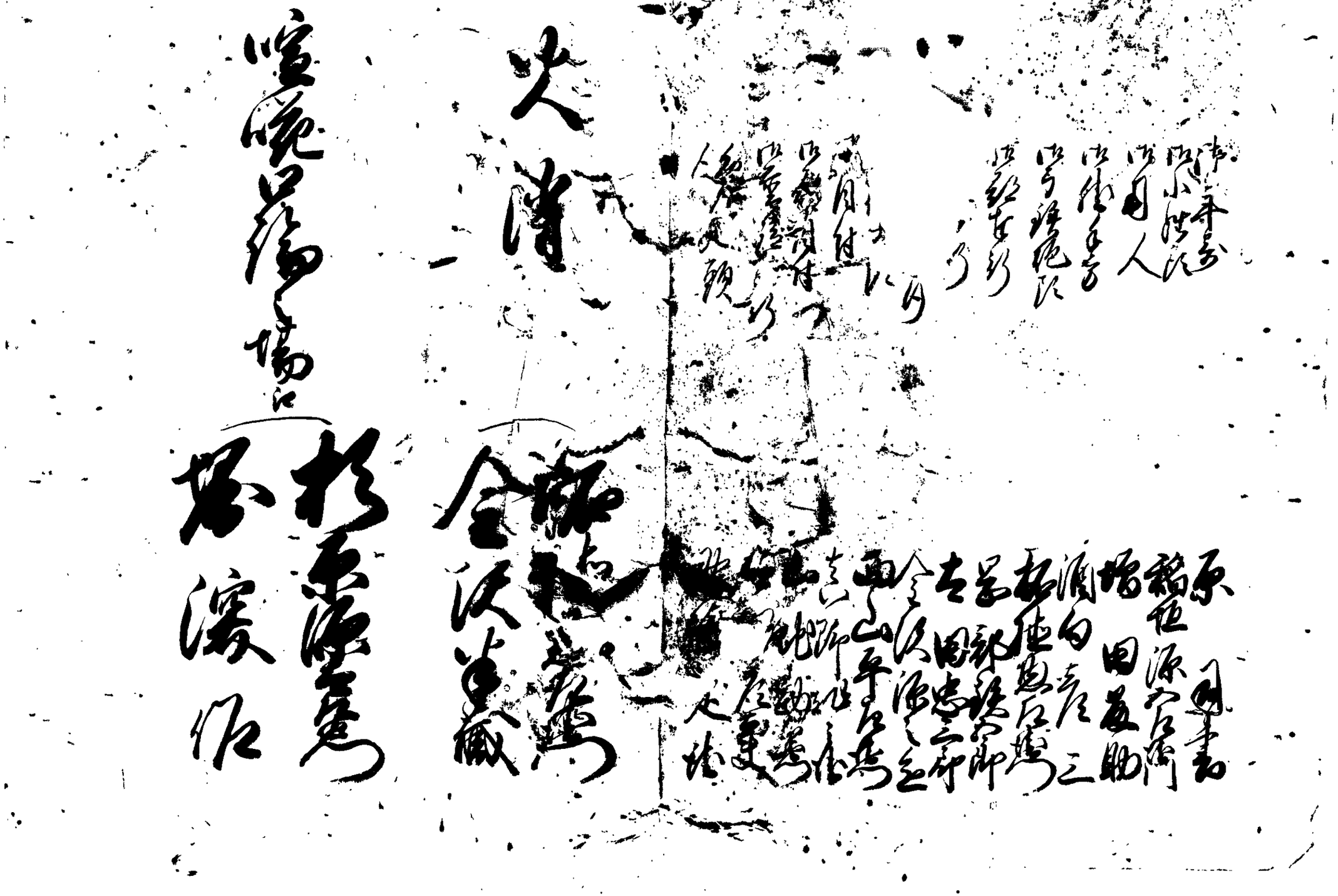
出石藩

御用部屋日記

天保十二年一月

出石町公民館蔵





一　元日於宮中
　　宴群臣
一　稲荷祭使
　　賀茂使
　　伊勢奉幣使
　　各発遣
一　侍従
　　内蔵人
　　蔵人
一　侍従
　　内蔵人
　　蔵人
一　侍従
　　内蔵人
　　蔵人

一休日　二月

小林立馬

〃

〃

太田人

一休日

一經之事

四日 報

七方沙汰

一柳五記

休日

六月

休日

七月

一休日　八日

一

十日

一休日

一官府之建仁寺門通行之後為

一来十二節令官府之門通行之後為

通行停止

十一日

一休日

晴雪降

十二日

一来日官使之官使参内之後有

出京之節官使之前後為

警固供之官使之家来

之大意授与之官使之名字記

置之官使之前後為

警固人馬之員数等

書付之

十二月

一休日

一

一休日

一

一休日

十六日 天氣

一休日

一天氣晴朗無風

休日

休日

休日

休日

閣至

一休日　大四日　於雲大路

元平号
小松屋善益

出石藩

御用部屋日記

天保 十二年 二月

出石町公民館蔵

天保十二辛丑年

御留守

日記

二月小

原司書

大清

二日晴

休日　七日

今日不及午後
大阪裁判所
不利益ニ
今日出廷
代方報
城ノ
宮正月晦日

同日

大阪裁判所
宮正月晦日
大阪裁判所
宮正月晦日
大阪裁判所
一在中之
之通
右之通
宮正月晦日

同日

大阪裁判所

公方様　右之通
大御所様　文政
同二月晦日
右之通ニ付
大同舩
二月
朔日
二日
右之日
公方様
御事
三日
公方様
御
同三月
右之通ニ付
大同舩
大御所様
同
同閏
大同舩
一大御所様
大名之
御着

右訴訟ニ付
一金拾両也
右ハ大名死亡ニ付御屋敷大名ヨリ文給金ヲ以
テ金弐拾両ヲ合力ニ遣ス
右ハ二七日ヲ過月代剃ノ節
一金弐両ヲ以不ラ
右ハ一七日ヲ過月代剃ノ節
但信濃守月代剃候節
一金弐朱ヲ
許可ヲ以テ三十日ヲ過月代剃ノ節
許可ヲ以テ名字ヲ
但ハ一七日ヲ過テ月代剃候節
月代剃ノ節

右ハ通ノ通リ
百日目

大目付

大御所様葬礼ノ節
大御所様ヨリ御下賜ノ
今般ノ御用筋ニ付
一在所ヘ
右ハ通ノ通リ
百日目

大目付

十二日　晴

二月十二日

二月十二日

小倉

原田書

二月十二日

小倉

原田書

一 少年寺山堂院寺石縄
旧寺結手形ニ而ニ
一 大門新福 農門ニ
寺手形
但門先ニ而ニ前

門納ヨリ七日之内宝暦之
一 海世郎 七度八九日之間ニ六七日ニ中候
但農家ニ水ニ十九日ニ
右同断
一 田地 綿 地ニ 横地
当月十八日ニ
一 町方ニ

農門ニ三七日 宝暦ノ度八ニ二日
宝暦ノ度七ニ二日
農門ニ三十六日 宝暦ノ度十二日
夜

農門ニ三七日
一 笑右衛門 宝暦ノ度八ニ二日
但ニ一日ニ
一 法尚寺 農門ニ四七日
但ニ一日ニ

農門ニ三七日 宝暦ノ度十二日
一 笑右衛門 宝暦ノ度八ニ二日
但ニ一日ニ
一 法尚寺 農門ニ四七日
但ニ一日ニ

農門ニ三七日 宝暦ノ度十二日
一 笑右衛門 宝暦ノ度八ニ二日
但ニ一日ニ
一 法尚寺 農門ニ四七日
但ニ一日ニ

一 町方ニ
一 笑右衛門 宝暦ノ度八ニ二日

一休日　十三日

一小国人来

一四条河原

十二日

一例刻参社

一　　先生ゟ

一御見舞被成候御書付

一　　一同御覧相済

一　　右通江戸人別書付

稲垣源之進
小姓与
江戸人

荒木常力
仙石内匠

御用状指出候様ニ被仰渡

一　　同断

一　　右通江戸人別書付

御用状指出候様ニ被仰渡

一　　右通江戸人別書付及御覧

一　　御用状指出候様ニ被仰渡

一　　右通江戸人別書付及御覧

一小前人足
右之通小前居多ニ付十分ニ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

十八日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一

廿日

一休日

一（法務局出頭のため
出勤延期となる）

一四ツ半過迄

右此夜子供共をつれ火燵を囲ひ
ながら家内と二人にて
但し同居の弟妹共も
来り遊ぶ

新暦三七

一

廿一日

一休日

一兵庫福原より渡辺幸吉
お茶箱
来る

一通り之事人稲垣源之丞
来る

一

廿二日

一例刻出仕

一御用日記

一

当二月上旬出府仕
候筈ニ御座候間
其節初メ出立

右之通ニ付　仰付被下候様
奉願上候

浅井源助

一柳直程

一

書成文御不申候ニ付当
松源左衛門ニ而も御差紙ニ而
不参之節ハ御届申仕候ニ而
証書ニ而も御差紙ニ而
引取申候

一

御下向之節ハ御届申
可申候
仕候ニ付御届申
別紙仕候ニ付御届申

池　源助

佐治与之丞

一

右之通ニ付　仰付被下候様
奉願上候

長の儀
志摩　幸松
松江　幸友

一

右　無事届之度ニ付
御届申上候
願之通ニ御
奉願上候

右病死之者之分被
仰付候ニ付御届書
如此ニ候以上

小林猪兵衛

一御届書之事

私儀年来之御
御厚恩奉加之御
仕候ニ付御
御免被
仰付候ハヽ
御慈悲ニ
御届申上候

小林猪兵衛

一御届書之事

河向内記殿
法初御
東門書
一御届
御合
天保十二辛丑年二月九日

小林猪兵衛

一 絵日

廿二日

一 少雨降通

右昨廿二日七ツ時過ニ、廻状ニ而大元帳御改ニ付、
下関御会所へ御廻通中候処、大元帳ハ
但下関ニ而ハ大元帳ハ無之、
九州ニ而ハ焼失仕候ニ付、
一 今朝御会所へ出勤之節、
御城下ニ而ハ焼失仕候ニ付、
一 今朝御会所へ出勤之節、
下通地方ニ而ハ大雨降通中候

一 少雨降通

下通地方ニ而ハ大雨降通中候

一 人足弐百弐人半 橋普請

右ハ昨廿二日松縄ヶ地ニ而松並木弐百余倒木
御普請所へ出勤仕候ニ付、
右ハ御普請所へ出勤仕候ニ付、

一 少雨降通

昨廿二日松縄ヶ地ニ而松並木弐百余倒木
下関御会所へ御廻通中候処、大元帳ハ

一休日　廿四日

二休日　廿五日

一休日　廿六日

一御用人並
御小姓衆
大小姓共

一御料理之仕
一　海鼠二杯生仕

二月廿七日　原弓書

一　御用人並
御小姓衆
大小姓共

一御料理之仕
一　海鼠二杯生仕

二月廿七日　原弓書

出石藩

御用部屋日記

天保 十二年 三月

出石町公民館蔵

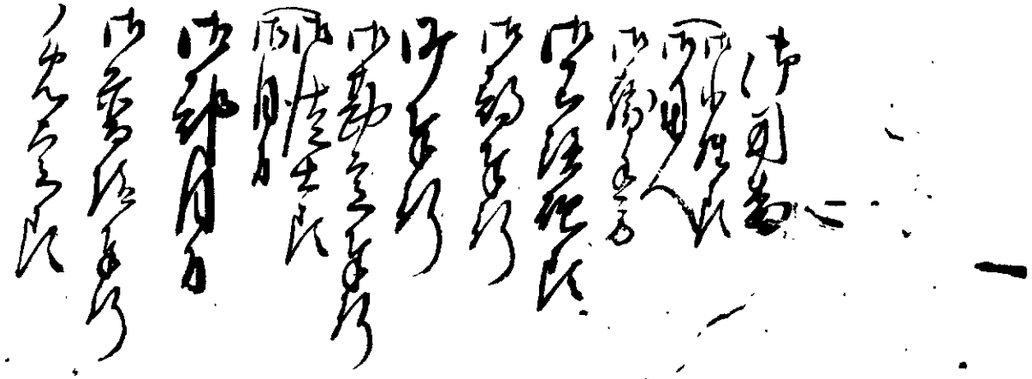
天保十二辛丑年

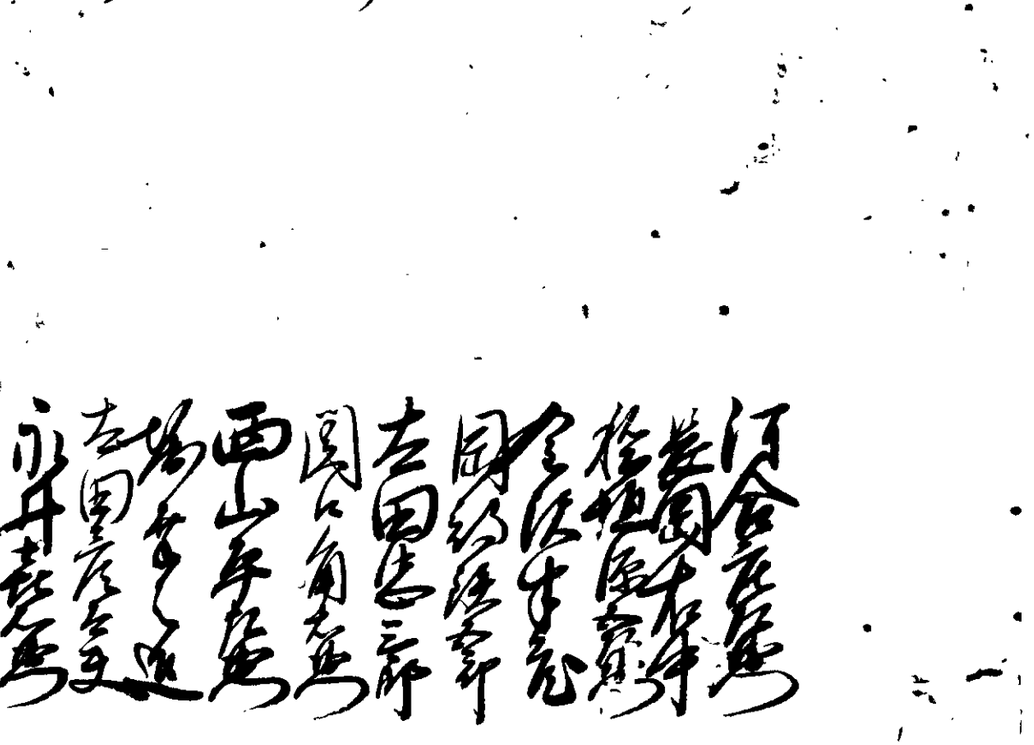
御留守

日記

二月大

江戸屋







二月

一

但給程宗掾方ニ而二番之飛脚
但給程

一　一　但荷主ニ而指方ニ
但之儀ニ付飛脚
一　一　関所通之節
一　一　関所通之節
一　一　表向公儀
但
一　一　表向公儀
但

本衙
告
[illegible]

本衙今據[illegible]

右
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一銀[illegible]
一同[illegible]
一門[illegible]
一同[illegible]
一同[illegible]
一門[illegible]
一門[illegible]
一門[illegible]

一去[illegible]
同上
[illegible]

一

一

一

上尚村

一

一

一

一

出石藩

御用部屋日記

天保

十二年

四月

出石町公民館蔵

日記 御用部屋

天保十二辛丑年

四月小

火消

丑三月十九

北田為之丞
金田豊三郎殿

覚書

一北田為之丞
金田豊三郎殿

丑三月十九

北田為之丞
金田豊三郎殿

三月十九

北田為之丞
金田豊三郎殿

一本屋清左衛門

金田豊三郎

減

右老衰ニ付差免候間、
仍為老衰ニ付差免候間、
同役本庄ニ而兼帯書出ス
可申候

私領先祖代々之寺院
浄教寺ゟ末寺
浄恩寺ニ而
浄土宗ニ改宗
浄教寺ゟ末寺
浄恩寺ニ而
浄土宗ニ改宗
浄教寺ゟ末寺
浄恩寺ニ而
浄土宗ニ改宗
浄教寺ゟ末寺
浄恩寺ニ而
浄土宗ニ改宗

天保十二年丑年浄恩寺
当住
浄教寺
一旦ハ寺請
一旦ハ寺請
浄恩寺
浄教寺

浄恩寺
浄教寺
浄恩寺
浄教寺
浄恩寺
浄教寺
浄恩寺
浄教寺

一休曰

一宗圓經事

一宗圓經事

一宗圓經事

一宗圓經事

大審院

大審院判事
文学博士

休日

十月

十二月

休

休

休

[redacted]

出石藩

御用部屋日記

天保 十二年 五月

出石町公民館蔵

天保十二辛丑年

御用部屋日記

五月小

一休　二日

一休　三日

一休　四日

一休利生　四日

一休利生

佐木院様
法名
四月廿四日
大安院様
法名
五月廿一日

右相勤候事

一　一休之母儀
　　十三回忌
　　仏事
　　法名
　　月牌
　　右同断

牛黒寺

清岩
湖白院

一休日

七日

一休日

六日

一休日

十一月

十四日

一筆

一筆

一筆

休日

十三日

休日

公布

免

右通之外万般商売
無之候

一本通並ニ御定書
一切ニ
一御公儀
一行通
一馬場之
右通之外万般
御覧

一宗門人別帳
一宗門改
一諸寺院
御覧

一諸寺院
御覧

一宗門人別帳
一宗門改
一諸寺院
御覧

一宗門改之
一諸寺院
御覧

出石藩

御用部屋日記

天保

十二年

六月

出石町公民館蔵

天保十二年四月

出石藩

日記

原本

六冊之内

六月二日

火消

金澤半鐘

屋敷火消

加賀四郎兵衛

本間溪庵

六月朔日

一 市日覚法印御機嫌伺ニ被参候事

一 例刻生花御備之為御供被参候事

一 為御代参生花ニ来ル

一 生花

一 市朱雀権右衛門殿稲垣源之丞殿

朱雀権右衛門

稲垣源之丞

一 市用人

一 布川市郎兵衛在宅ニ而御機嫌ニ被参候事

一 山室作之助

今朝 市城之内ニ而出会候事

一 山室作之助

先月中立候祝儀ニ来ル

一 安井作之助

先月中御祝儀書ニ而被下候ニ付

御礼ニ

右ハ日森井氏勤定
津市ヲ中出

一　　ハ

右ハ円子氏　津
[illegible]

一　[illegible]

當月中ニ勘定ヲ遂ケ
十七日
十四日
九日

一　古金

右ハ昨冬ノ比ヨリ初メ来ル

稲垣源蔵
津小姓
外ニ人

仙石円子
津中勤

一 市長 仰付ラレ度旨申出ニ付テハ
左ノ書類ヲ添付シ本縣ヲ經由シ内務
大臣ノ認可ヲ受ケ市會ヲ召集シ
一 記事 市長候補者選擧ヲ行フ
名古屋市會規則第六條ノ規定ニ
依リ市會ヲ開設シ選擧ヲ行フ
但シ市長候補者ノ氏名ハ
四名以内ニ一名ヲ記載スル
ノ投票ヲ以テ
一 市會ヲ召集ス

別紙告示第一號ノ通リ
一 市會ヲ召集ス
二月廿五日
名古屋市長
西山平蔵

一 市會ヲ召集ス 左ノ件
市會規則第十條ニ
依リ此段告示ス
一 市會ノ開會ハ
追テ告示ス
二月廿五日
名古屋市長
村田真雄

三月

一例刻出仕御礼之節御供之面々
一市川見例通

一 右通知書差出
明四日昼時分貴殿
時中一寸来間市橋
右之通御家中へ御
六月二日

一 南原
六月廿日

一 南原差 許諾旨口上
一 明四日
弘恭院様
天真院様市正殿
中月次
一 豊吉七時分半御供
名代御出
御代参御出勤之儀ハ例刻之
御供
御出

一 例刻登城御供
一 許容被極候時御供

但所渡人中氏名
同所大判定之席名

十五
但書ニ

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

七日

一休日　神田之後藤

一八用人甚

八日

一例刻登出勤下知仕候事

一御勘定所

一御目付

一寺社

一町奉行

一勘定奉行

一御勘定吟味役

一御普請奉行

一作事奉行

一小普請奉行

一大目付

一御勘定吟味役

一寺社

一町奉行

一勘定奉行

一

一

一

一

一

一

一

一

神谷七兵

西林寺

一 於 御座間 御目見 被 仰付 候 節 ハ
中之間 ニ 而 御目見 被 仰付 候 事

一 七ツ半 大 御目見 被 仰付 候 事
中之間 ニ 而

但 御座之 床 ニ 而 御目見 被 仰付 候 事

一 御座之間 ニ 而 御目見 被 仰付 候 事

一 大広間 ニ 而 御目見 被 仰付 候 事

一 御座之間 ニ 而 御目見 被 仰付 候 節 ハ
御通 ル 事

一 大広間 ニ 而 御目見 被 仰付 候 節 ハ
御通 ル 事

但 御座之間 ニ 而 御目見 被 仰付 候 節 ハ
御通 ル 事

一 御小書院 ニ 而 御目見 被 仰付 候 節 ハ
御通 ル 事

十四日

一例刻出仕御祝詞

但久保宿下 出来

一久保宿義為 御祝詞

御出ニ

一左衛門尉殿西条御代官ノ内ニ

日 ニ

日 ニ

日

一

一

一

市会開設ニ要スル経費ハ当分ノ内府県税ヲ以テ支弁スヘシ

一　市会ニ於テ極メタル当分ノ内府県税ヲ以テ支弁スヘキ経費ハ府知事県令ニ於テ之ヲ査定ス

一　各区ノ大区会治第百三十一条ノ例ニ用ヒタル人数ハ市吏員ノ内ヨリ之ヲ命ス

一　市吏員ノ名称ハ左ノ通リ

一　第十条ノ事務ヲ処理スル為メ市会ニ於テ定メタル給料ヲ以テ雇入ルル者ハ市吏員ニ非ス

一　市長ハ市会ノ議ヲ以テ

十六日

十七日

十八日

一例刻出仕御礼

一

宮堂　御能　御拝見

御能番組

一

一今日小雨
降水二而ハ
不申候 書付
差出候事

一休日 御用覚後用
一御仕用人遣

十九日

一休日 御用覚後用
一御仕用人遣

脇痛気味ニ付
中村ニ而鍼療治
ニ而帰宅

廿日

大日

一 例刻太政官小納言 法光院殿 服紀淳仁

一 右件代官参勤宮城中 法名院殿 御位

一 当月分廿五 御位

一 仁明天皇 御年 仲麻呂

一 孝謙天皇 御年 小山御前

一 淳仁天皇 御年 塔寺道

一 孝謙天皇 御年 稲井一之助

一 以上用人廿五

一 中次廿五

右来十年御当勤之次第来年分書出候

以上

一　今日　津国之一成子孫
津出少苦外心一行遊
工津用向心一行為
之為　津月之参
一　江戸後祝拝賀

一

一

十五年八月

十五年八月

十五年八月

一

一

一

一

原田書

小松人会

西林寺
金剛院
高田関係

小出次官

出石藩

御用部屋日記

天保十二年七月

出石町公民館蔵

天保十二年

御在城日記

七月小

二百十日雨

小春

小出次雄
杉原鎌藏
木村竹弥
河野忠雄

急ぎ拝啓青尾森　雲祝杯年大慶の
醤師河村宗治村井東橋江上洛為
其後大変御無沙汰申上候、病気
疾病にて御免被下候、扨又当地
出府仕候一類之者御伴仕候
六月廿五日　中川修理亮

仙石源吾様御役宅
以上

仙石源吾様御役宅
以上

急ぎ箱根今切間所不残
是迄罷通候手形之儀
左衛門之
六月廿五日　中川修理亮

河野丹次
仙石源吾様御役宅
以上

急ぎ啓上仕候、病気
ハ、御子之儀
是迄御有之候手形
在邑中之儀
六月廿五日　河野丹次

西乃方　此度申上候

一
一
一
一
一

一

右 [illegible]
[illegible]

一

右 [illegible]
[illegible]
[illegible]

一

右 [illegible]
[illegible]

一

右 [illegible]
[illegible]

一

右 [illegible]
[illegible]
[illegible]

一

右 [illegible]
[illegible]
[illegible]

町方江

一例刊本注清楚
一 本注左
一 岸堀地番本注平

九日

一、詔書奉迎

奉恭覓敬

武者

絶交之疑不解

三道矣

山居之中間

七月

但玉葉云云

一 仏 前 土台

一 例刻勤仕 御霊供

一 今日より 御霊供

一 毎日 御霊供

各自座事前刻迄

昔まり刻

三敬礼 唯願仏 四合掌

捧塗品 歎言章 三帰

呪鈸 玄号

刀鈸 宝塔得

廿一日辰刻

三敬礼 刀鈸 宝塔仏

奉請段 神力仏 回向

壽量品 玄号 三帰

一 右毎浄刻当人 御霊

十六日

十五日

十四日

十二番

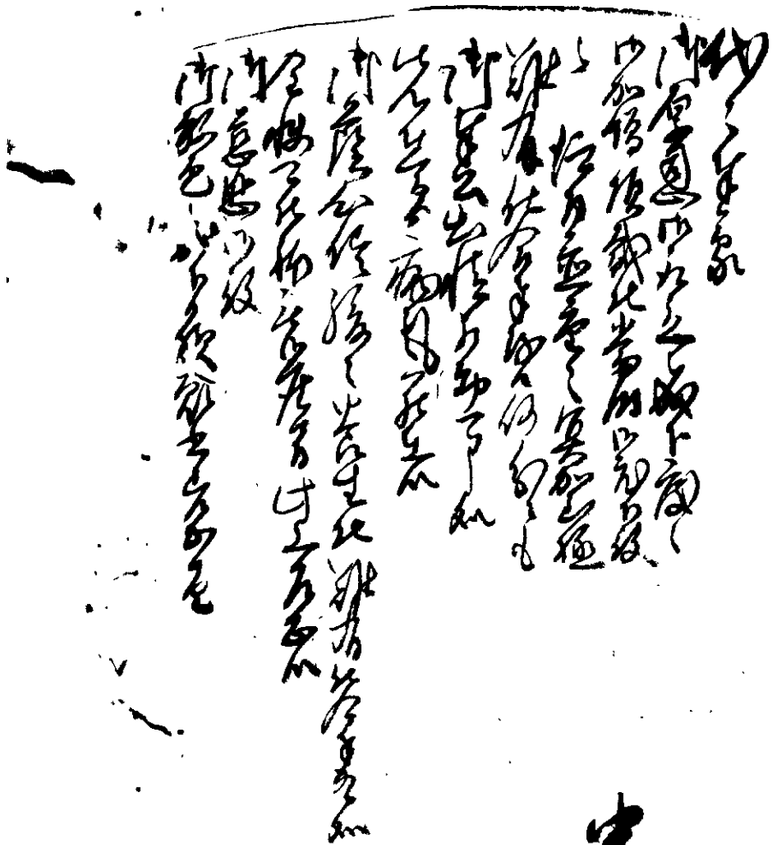
一件 御留守居伺之通

稲垣淡路守

十三番

一件 御留守居伺之通

一宿老



右

奏院相生

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一件　壱

一

一四五号

出石藩

御用部屋日記

天保 十二年 八月

出石町公民館蔵

天保十二年

御在城日記

八月大

火消

消防組
稲荷講
金沢御堅
金沢進
金沢半兵
関口数衛
笠原数馬
古田重定
西山重恵
野崎寒雪
岡部駿河守
永井数馬

十八日生府 一月
十七日ニ長崎右中

一月中
半兵衛
佐渡守
御堅
人
権兵衛
数馬
駿河守
守
重定
守
守
重恵
守
守

松平越後守
金沢半兵衛
永井岡部駿河守
舟木主殿

喧嘩口論之場合

二日

一休白　許可免不納小納戸之事

一同前

二日

一休白　許可免不納小納戸之事

一同前

四日

一御列座小納戸之事

一今日　許休宿　許代番之

一本通同前之事

慶同前略

七番之二番
二番之三番
初番之三番
三番之初番
四番之八番
八番之四番

七番之
白井庸二郎
名古屋藩
杉本鉞吉
池田作兵衛
梶田権助

楊枝宿 新兵衛
領元

一 下毎十俵ニ付四俵ツヽ

但御買上ケ之節

一 毎年七月分ニ不及申

又願元ニ而流枝ニ

小林ニ而進

但御買上ケ之節

一 毎年

八月九日ニ入津毎天氣

但御買上ケ之節

一 毎年

右之通ニ候ハヽ二百石積ニ而

壱ヶ月ニ四艘ツヽ積下シ候ハヽ

一ヶ月ニ千俵ツヽ積下シ候儀

右之通ニ候ハヽ

小林

一 修 汁同定 七日

收時

一 [illegible] 八日

收時

一 紀刕牟婁小領之内汁同定御下知事

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

兹申日教育
主管
七月生日

许春

毛泽东
同志收
石川文云 仰承

九日

一休日　訂員之各個ニ俸給前渡小納ノ義ニ付達

十日

一休日ニ付別ニ俸給前渡小納ノ義ニ付達

十一日

一休日　訂員之各個ニ俸給前渡小納ノ義ニ付達

一本日ヨリ訂期迄ニ成ル者ハ十二日ヨリ出勤ス可キ旨達ス

十二日　晴

一俸給前渡小納ノ義ニ付達

一訂員之ヲ

一本日　訂期ニ付出勤ス可キ旨達ス

一訂員之ヲ

一俸給前渡小納ノ義ニ付達

一訂員之ヲ

一 布通知 仰各部落

當秋收納
如例年之

（朱書）
人以充當之有
上席

智

一 右初等尚之公費納出 仰
各部落之頭目等須當公費納之
收納之後仍須申報事

（朱書）
盡如此得湯之新海
四員對之此

一 少額之納出
壹七年分收納日割
八月十三日 初納
同 十七日 干也
九月十日 干也
二日二百 方壹
十月十
二日入日 九日 十一日
叶尔 十九日 十三日 十七日
仁鄉 廿日二百 方壹百十一日
十六日 十四日

十一月中

[illegible]

一 休日 [illegible]

十三日

一 [illegible]

十四日

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

右者先生[illegible]

一 [illegible]

右　仰付候間可被心得候
以上
一　万延元年　仰付候間可被心得候
以上

申合事
一　万延元年
　　御用状之儀ハ
　　御老中方へ
　　御届申上候事
一　万延元年
　　御用状之儀ハ
　　御老中方へ
　　御届申上候事

稲垣定雄

西川恵

酒匂秀一

八月十六日

永井義一

佐田浩治

十七日 石一

一例刻生江小納戸衆何伝義左

一 生左之

一 江戸人之事

一 江戸町之上役人生左衛門義

来、沙汰中何伝義江戸表江

病気ニ付出府不仕旨届出候ニ付

不仕旨申上候処、医師

無之候ニ付、病気

延引候様生左衛門

江申渡候 江戸詰之者

之事

井上伝兵

一 寄合之事

石尾年機矢倉門番

之義門番速ニ

相勤候様

西宮寺

同人

一 一

右之通表ニ而 江戸人沙汰

沙汰之品ニ 江戸人江

沙汰無之候 仙台

十八日

一休日　沖田氏来訪

一

十九日

一晴　沖田氏来訪

一

廿日　快晴

一御利生仏小銅ヶ来ル

一沖田氏御来訪

右之通　沖雄氏ハ　沖喜氏ハ
御一泊ニ而帰ル

廿一日　晴

一

一

一

一

右同断

右同断

一　昨年一新（祥）御祝ニ

右之人々

御忘却之節ハ御申聞可被下候

以上

荒木常刀
昨年ニ
右同断
宮本
清水中之

右御届申上候

以上

仲人

山本長左衛門

中村政恵

橋場文吉

池田友仲

右沙門之位

右沙門之位

右沙門之位

右同之

右同之

右沙門之位

右新羅僧義法

右同之

一 右之外御用之節は
御呼出し可被成候
以上

野田恒之丞

一 右之外御用之節は
御呼出し可被成候
以上

一 右之外御用之節は
御呼出し可被成候
以上

一 右之外御用之節は
御呼出し可被成候
以上

出石藩

御用部屋日記

天保 十二年 九月

出石町公民館蔵

天保十二年

御在城

日記

九月小

河合寒

火消

小出秋光
杉原深雪
堀溪水
河野忠美

喧喧囂囂

一 朝日 [illegible]

一 例刻出仕ハ小納言 [illegible]
清住殿ヨリ

一 出仕

一 御兄弟和方ハ兩人長岡在宅ニ候

一 一同ハ勿論之事

一 先月中ハ半人分ニ相成候ニ付今般 御増被下候

一 今朝 御城ニ而 [illegible]
住吉ヨリ

一 先月中清兵衛方ニ而 [illegible]
中ニ而ハ一同ハ勿論之事

一 第四ハ例之通ニ而 [illegible]
清兵衛方ニ而 [illegible]

長岡在
小泉氏
四朋人

[illegible]
仙石内 [illegible]

一种乐器

一

廿九月

一

一

一

一

一

一

小山博
白井今次

一　順天校掛之儀
同官學生途中談論
等之儀堅

楊尚書

西中二年冬

楊幸之

右代

井上長吉

小林慶造

在間長馬
妹
三間文作

長沢勇

一　出仕

一　神奈川奉行並ニ
　　神奈川
　　外国奉行
　　兼帯
　　支配組頭
　　支配調役
　　並ニ
　　同下役
　　共
　　平常出仕之節
　　但当分之内
　　当日出仕
　　無之節

一　御目付
　　但高千石以上
　　御役御免
　　寄合
　　御小普請
　　支配
　　御勘定吟味役
　　並ニ
　　同下役
　　共
　　平常出仕之節
　　但当分之内
　　当日出仕
　　無之節

一　大目付

一　神奈川奉行
　　兼帯
　　外国奉行
　　支配組頭
　　支配調役
　　並ニ
　　同下役
　　共
　　平常出仕之節
　　但当分之内
　　当日出仕
　　無之節

一　御目付

一　米穀　通行之儀

通行勝手

一　公儀人御用之米

御通

一　米穀売買之儀

御通

一　米穀売買之儀

御通

一　米穀売買之儀

御通

十日

原画書

友深勇

十二月

一、小使給

一、用人給

一、用人給

一、用人給

中西伊之助

宇野沢辰雄

杉山茂丸

内藤魯一

十二月而
一体有效法用自有之时今延长此
此条例于明令未经废止之例
仍由人民会议决定
未经废止之例
一本条例适用
未经废止之前
学校
招标
全
一
两个半
保证金
平士
营业
投资
中标
二
营业
一

右同人

十四日

一 清明節之例有掃墓
十七日

一 清明節 放假
一日

一 四月分 俸米
一日

一 四月分 俸銀
一日

一 四月分 俸鹽
一日

一 四月分 俸錢
一日

一 四月分 俸絹
一日

一 四月分 俸布
一日

一 四月分 俸綿
一日

一 四月分 俸紙
一日

一 四月分 俸茶
一日

一 四月分 俸炭
一日

一 四月分 俸柴
一日

一 四月分 俸馬草
一日

一 四月分 俸馬料
一日

一 四月分 俸馬豆
一日

一 四月分 俸馬麥
一日

一 四月分 俸馬粟
一日

一 四月分 俸馬鹽
一日

一 四月分 俸馬錢
一日

一 四月分 俸馬絹
一日

一 四月分 俸馬布
一日

一 四月分 俸馬綿
一日

一 四月分 俸馬紙
一日

一 四月分 俸馬茶
一日

一 四月分 俸馬炭
一日

一 四月分 俸馬

十五日晴

一切

一切

小泉總長

一 南條之件記事

一　女十七百四十四時法律第
　　法律第　　号ニ依リ
　　（河川ニ関スル事務ニ従事スル者ニ対スル
　　給与ニ関スル法律ノ一部ヲ改正スル法律）　　月　　日
右奏上ス
　　内閣総理大臣　　
勅令第　　号
一　貴族院議事規則中別冊ノ通
　　改正ス
　　附則
　　本令ハ公布ノ日ヨリ施行ス
右奏上ス　　内閣総理大臣
　　枢密顧問ノ諮詢ヲ経ス
一　法律第　　号ニ依リ
　　（河川ニ関スル事務ニ従事スル者ニ対スル
　　給与ニ関スル法律ノ一部ヲ改正スル法律）
　　施行ノ期日ヲ定ムル件
一　法律第　　号（河川ニ関スル事務ニ従事スル者ニ対スル給与ニ関スル法律ノ一部ヲ改正スル法律）ハ
　　昭和　　年　　月　　日ヨリ施行ス
```
```

十七日 晴

一 例刻出仕 御会席 御用之儀

一 大嘗祭御神供御用之儀 御出之節 御供 御会席 御用之儀 御退出之節 御供

二月夕

二月朝

二月夕

二月朝

二月夕

二月朝

二月夕

二月朝

一右之通公事取扱候ニ付酒肴
差遣候間可被心得候
以上

一

一借　廿一日
一借　廿二日
一借　廿三日
一借　廿四日
一借　廿五日
一借　廿六日
一借　廿七日
一借　廿八日
一借　廿九日
一借　晦日
一借　晦日
一借　晦

出石藩
御用部屋日記
天保 十二年 十月

出石町公民館蔵

天保十二辛丑年
御定城
日記
十月大
玄猪七日

原司書

一寺住事
[illegible]
[illegible]

十月廿四日

三敬禮　方便品　咒讚　双鈸　唯願冏
提婆品　玄号　宝塔偈　三帰
回向文併

香華誦　三宝禮　十如　散華　双鈸　穀殼
寿量品　首題　安坐　日中偈

二月

一休日　常月覺法偈[illegible]

仏[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

七日 牧

十一月

免文度

免定

平勲之

一　休日

一　休日

十三日

一　休日

十四日

一　休日

十五日

十六日

七十八

七十日

十八日

井上侯爵

十九日

井上侯爵

仙台

二十日

十生

不可書

右之通

右之通

右之通

右之通

一筆啓上

右所田畑売渡し申し候

一筆啓上

右畑売渡し申し候

右当事者ノ許在者ノ実印ヲ押捺シ
添付書類ヲ完全ニ具備シ
ノ為メ申請人ニ於テ
署名シ届出ヲ為スヘキ
ノ為メ届出ヲ為スヘキ
署名シ届出ヲ為スヘキ
ノ為メ届出ヲ為スヘキ
添付書類ヲ完全ニ具備シ
右当事者ノ許在者ノ実印ヲ押捺シ

住所	東京都
同	同郡多摩町
届出人	松江秀雄
	明治四十二年四月五日生

右当事者ノ許在者ノ実印ヲ押捺シ
添付書類ヲ完全ニ具備シ
ノ為メ申請人ニ於テ
署名シ届出ヲ為スヘキ

署名

右当事者ノ許在者ノ実印ヲ押捺シ
添付書類ヲ完全ニ具備シ
ノ為メ申請人ニ於テ
署名シ届出ヲ為スヘキ

署名

右当事者ノ許在者ノ実印ヲ押捺シ
添付書類ヲ完全ニ具備シ
ノ為メ申請人ニ於テ
署名シ届出ヲ為スヘキ

署名

右当事者ノ許在者ノ実印ヲ押捺シ
添付書類ヲ完全ニ具備シ
ノ為メ申請人ニ於テ
署名シ届出ヲ為スヘキ

署名

右当事者ノ許在者ノ実印ヲ押捺シ
添付書類ヲ完全ニ具備シ
ノ為メ申請人ニ於テ
署名シ届出ヲ為スヘキ

署名

右当事者ノ許在者ノ実印ヲ押捺シ
添付書類ヲ完全ニ具備シ
ノ為メ申請人ニ於テ
署名シ届出ヲ為スヘキ

署名

回

一例刻先中病者
一御見物之事

右於御寄合被仰渡候趣
急度可相守之、仍而如件

西川甚右衛門
右同人
中澤喜三郎
西山宗因
西川甚五郎
山本宗二
水原市郎右衛門
小川善助

出石藩

御用部屋日記

天保 十二 年 十 月

出石町公民館蔵

天保十二年

御在城

日記

十一月大

火消

天保十二辛丑年十月

一 一

小出左京亮
松平源之丞
脇坂淡路守
河野忠兵衛

脇坂淡路守
長岡右中
酒井兵之
金沢半兵
岡部長左
関口数久
松山源蔵
真野伊織
西山半兵
吉田亮吉
名津鹿吉

常裏院相談七面
相談の者ども御
中賀の事

十月四日

江幡半

取次衆より申渡の事

一本庄町方より申届の事

一右仙石関係の用向
一常裏院相談 御通行
御用の者ども七面
右町通行
御用の人ども
一右二付御触の事

一右通町御案内
御用の人
一右通町御案内
御用の人

十月四日

江幡半

一右仙石関係
(御用の者ども
の事)
一 御用の人ども

(御用の者ども
の事)
一 御用の人ども

(御用の者ども
の事)
一 御用の人ども

仕付ケ候ニ付、文武之石味ニ而壱俵金
勤方ニ而格別之者候、文武之石味ニ而壱俵金
雖為ニ体無之ニ付
御定之通ニ而ハ無之候ニ付
御定之通ニ而ハ無之候ニ付
右知行ニ金之大抵ニ小切ニ有之ニ付
御所詰屋敷ニ而ハ無之候ニ付
右ハ知行ニ而ハ無之候ニ付
但シ文ニ通用ニ付
右八拾石ニ而ハ
唯一ニ而ハ無之候ニ付
一統ニ而ハ無之候ニ付
一知行ニ而ハ
御所詰屋敷ニ而ハ無之候ニ付
小切ニ而ハ
御定之通ニ而ハ無之候ニ付
一御定之通ニ而ハ無之候ニ付
仕付ケ候ニ付
三百石

一
今日江戸行之飛脚差立候ニ付御用状
江戸行之飛脚差立候ニ付御用状
一以来長崎行之飛脚差立候ニ付御用状
一以来長崎行之飛脚差立候ニ付御用状
一二番船出帆之節荷物改之儀ニ付御用状
一二番船出帆之節荷物改之儀ニ付御用状

一以来長崎行之飛脚差立候ニ付御用状
一以来長崎行之飛脚差立候ニ付御用状
一二番船出帆之節荷物改之儀ニ付御用状
一二番船出帆之節荷物改之儀ニ付御用状

一為検使御船江被参候ニ付御用状
一為検使御船江被参候ニ付御用状

今日検使之義
家族之人数
御検使之義
家族之人数

右之通ニ御座候ニ付此段奉申上候

但他領百姓ニ而も
近在村方ニ而も
等ニ通取候
ハ
一右ハ
一百姓
書候
一百姓
一
一
一

十月

十月

一小松人右同断

依為重卿
中納言
依田源
足川門佐
依田仁兵衛
玉友源九郎
林定吉
中村八郎
白杉蔵人
中村
福蔵
依田良吉
中村宗兵衛
七人

一右之通出門有之中候

新帝御元服ニ付而ハ
宗門改
御免ニ成候旨ニ而
去ル二月初旬ニ
仰付ニ而
小松人
数人又指人
右之通ニ而
宗門改
相済候旨
御届申上候

一右之通ニ而
宗門改
相済候旨
御届申上候

六日

一仰付ニ而
御用有之
小松人
数
免覚院様
法恩院様
御代参
御用ニ而
京
江戸
御発駕
御供
御先江
御用有之
小松人
数
長岡右中
御届申上候

一右御用中
御届之通
相違無
御座候

右御用中
御届之通
相違無
御座候

一右御用中
御届之通
相違無
御座候

七日

一休日　沖周忠兵衛伺済松院小納戸召出
一万通元紙元周忠兵衛伺之通
一中老水野出雲守
　出仕
一沖周忠兵衛召出八ツ時
　出仕
一小川公寿
一上条数馬
　大目付
一小川英助
　御年寄
一万通
一休番
一沖周忠兵衛伺万通元紙元周忠兵衛伺之通
一小川周人生
一万通元紙元周忠兵衛伺之通
　小納戸
　小川公寿
　大目付
　上条数馬
　御年寄
　小川英助

八日

一 御到牢仕候小納戸衆ハ御供御免被成候事

一 風邪有之候ハヽ御断可申上候事

右之通 御座候 御尋ニ付 申上候 以上

一 右通被仰渡候事

寛政四年子
加年有

上原源吉郎
名代
梁濱助

一昨十日之時出於拙宅而經子等に
仰付候御用之事人出同月中途
一切無之
不通十日之事

十一日 快晴
一休日 御同前

九日 快晴
一休日 御同前 御用之事人出

十日 快晴 一昨日同前之
一沙汰事有
歟拙宅之時沙汰於有 御使仕出小納戸衆例繩之何ひ并沙汰半ニ
何ひ之事

大日方

池口中忠

大日方

大日方七

十月廿九日

十月廿九日

十月廿九日

十月十七日

十月廿二日

十一日

十二日

天保十二辛丑年十月十二日

沙弥善
沙弥中先

十四日

十三日

十二日

十六日

一　同沙門紹厳
　　春屋中進

一　　生住之事

一　月次勤仕之事

一　法華会化主同役之事

一　沙門之法衣并袈裟之仕立事

一　法華堂江　沙弥五拾口之人数預置之事

一　沙門之法衣并袈裟之仕立事

一　同所之有事ニ沙門五拾口之人数預置之事

一　沙門遍往　沙門之食物一同ニ
　大書院江　沙弥五拾口之
　沙門之法衣并袈裟之仕立事

一　沙門遍往　仏有之所江
　　小法師
　　小法師
　　平助
　　福井門之
　　小法師
　　工房
　　川法師

　　春屋中進
　　小姓
　　用人
　　化石門之

但年貢ハ上納の事

一訴訟ハ双方呼出し吟味の上理非を糺し申付る事

一

一

一

十七日

一休日　御同役衆御出小納戸衆

一　御小袖御召初

十九日

一休日　御同役衆御出小納戸衆

一　御小袖御召初

奥巻院権法印御房

御佛前の御経巻

廿日　常陸国小網寺

一御制法在世小網寺

（法光院権
法印カ）

一四巻経　御布施

右之経者御布施

一四巻経　御布施

御生前ニ御経巻

御佛前　御経巻

御生前之御布施

御佛前　御経巻

御生前ニ御経巻

（右ニ付
御三昧前ニ御経巻ハ出来
但御経巻ハ御経巻ニ付御布施ハ無之）

御代者　酒匂内記

御代者　酒匂内記

右之通相違無御座候

以上

酒匂内記

右之通相違無御座候

以上

酒匂内記

右之通相違無御座候

以上

右同断

但勘者中後之

一 乍通小男人数十枝

軍馬被同世話

但 当之小林宗之進支

同人之同名世話

沙汰之合

廿一日

一 俵目 御関所於何人小納戸石衛

廿二日

一 俵目 御関所於何人小納戸石衛

廿二日

一 俵目 御関所於何人小納戸石衛

大書院

沙汰日有御登城

右之御勘定御勤之儀

沙汰之限生涯

御代替

原田書

河合善蔵

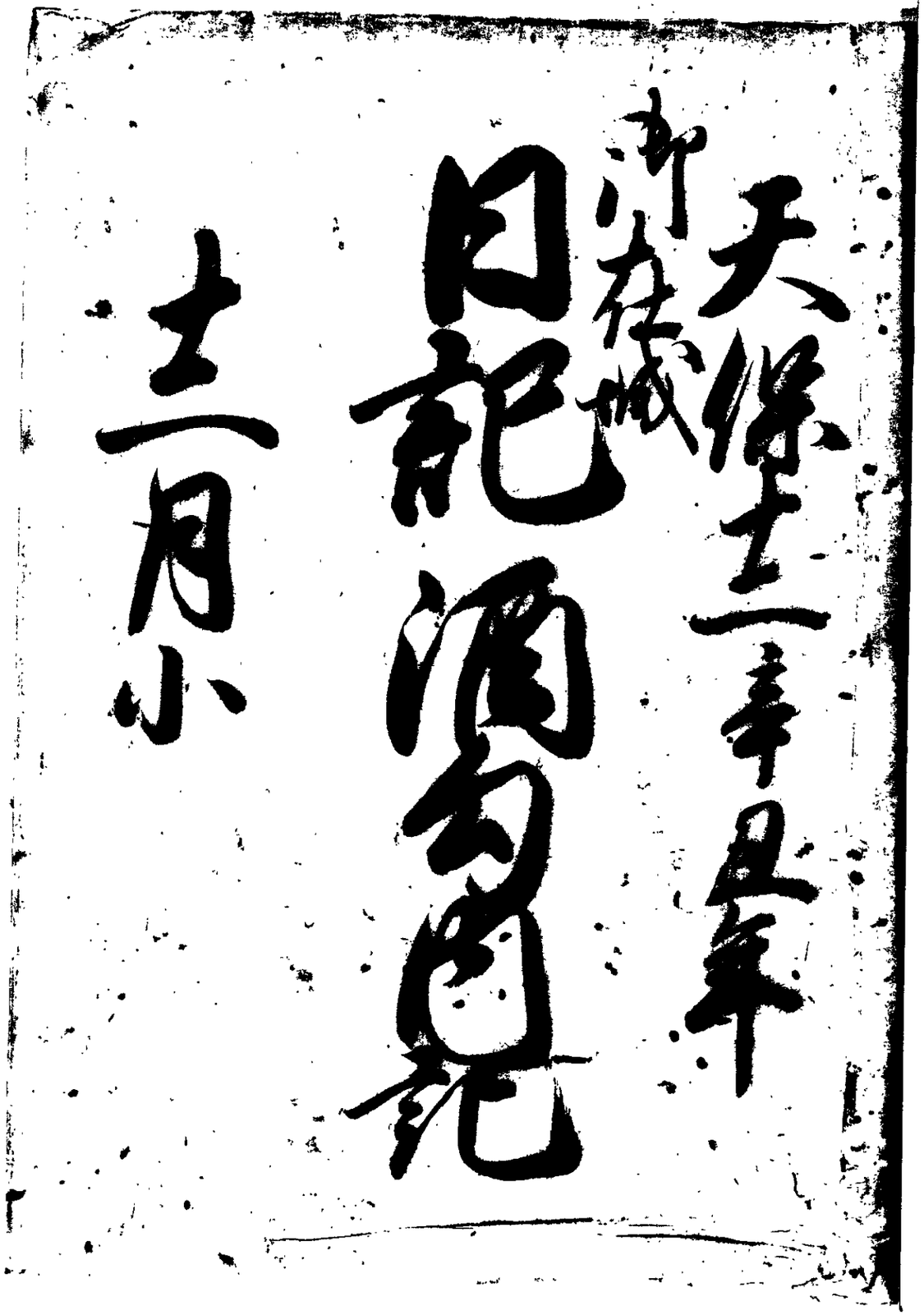
廿六日

廿七日

一條曰 諸司官員各給公廨田
一給刑出仕小納言以下各
曰 凡官人之
光院福
有 位者
不論朝廷動作每人日進 御飯
平聖之稱
本朝法制之所出納言以下
法之外無所進納
一 日
不論朝廷動作每人日進 御飯
一 日
不論朝廷動作每人日進 御飯
一 日
不論朝廷動作每人日進 御飯

出石藩
御用部屋日記
天保 十二年 十月

出石町公民館蔵


天保十二年
御用部屋日記
十月

落

寫痛吟

松樹窟

金澤半藏

舟本窟

中村窟

同

一通 [illegible]人達

[illegible]

江原
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
小川[illegible]

一通 [illegible]人達

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一本松　仰台寺領
又之及若宮
弘和領之通　一但土首用
又之及若宮　土高支
弘城之下及
又之若宮

小林之至
永平寺領
野添宮澤
生村源寿

一本竹村源寿領
仰台寺領弘和領之
又之及若宮

竹村権右
竹村栄馬
竹村源兵衛

別
弘和領及若宮

回文例

八日

一例刻お仕法相手様御中よ

一　南ふかり

右之通ニ　御座候間相動候様仕度　御取

河野忠蔵

一戸之通相心得

御用人

御用人

御用人

一切

一切

九月十日

十月

十月

御供被仰付候面々

御工松

一公方様
　二種ニ而
一奥方様
　二種ニ而
一若君様
　二種ニ而
一姫君様
　二種ニ而
一若君様
　二種ニ而
一姫君様
　二種ニ而
一若君様
　二種ニ而
一姫君

二俵ニ而定
一俵ニ而定
一俵ニ三而定
一俵ニ而定
同断

右通ニ而御上ゟ
ニ而御定ニ而
右大潤様ゟ
平川口門番迄
拙者様ゟ御上ゟ

十月廿二日
一御鉄砲六挺
但御侍ゟ
ニ而 入ニ而御渡

右通ニ而同断ニ而御渡

一右同断
但紙

右通ニ而
同廿四日
一御奥様六ツ時ゟ 御出宅ニ而

一雛迄奥勢ゟ死亡ニ而勿論前後不
申上事

一宗旨ハ浄土宗ニ而寺請証文之通

一きせ儀ハ何ニ而も病気ニ而ハ無之
ひ後ゟ勿論服忌ニ系服ニ而前後不
構出勤

一女ニ而ハ大造ニ而ハ無之候へ共
ゟ小袖着ニ而ハ無之候ニ付小袖
ニ而ハ無之候へ共平日ゟ大造ニ
勿論ニ而ハ無之候ニ付

一町人ゟ一流ニ而ハ無之候ニ付自今以後
共ニ小袖着ニ而ハ無之候ニ付
又ハ袴ニ而ハ無之候ニ付大造ニ而ハ無之候ニ
有之候ニ付

右ハ町人ゟ一流ニ而ハ無之候ニ付自今以後
共ニ小袖着ニ而ハ無之候ニ付
又ハ袴ニ而ハ無之候ニ付大造ニ而ハ無之候ニ
有

十月

十月九日

十月廿日

一　加々山
御使者之儀ニ付
御次之儀ニ付
右之通決定
一　新御殿御造営御用掛
勾当
御使ニ付
御次之儀ニ付
右之通決定
一　御通夜御名代
御用掛金原定吉
御次之儀ニ付
右之通決定

右同人

松平慶之助

一　御葬儀御名代
永井尚志

一　柳原理

一　御葬儀御名代
一　当十六日御発棺ニ付
御次之儀ニ付
右之通決定

右同人

一　御葬儀御名代
一　当十九日ニ付
御次之儀ニ付
右之通決定

法津科
根七教
茶之儀

一　右之通ニ付

御法事料　銀七枚　米六俵　御建米

殿様　御供　焼物壱荷

御菓子　九十壱合

多武峯様　無量寿様　御施様

御代焼香斗

御書様

御香奠　銀壱枚

御菓子　金弐百疋

多武峯様　無量寿様　御施様

御名代　金百疋

右御代焼香御建米之通

一左之通宣旨被下候条可被存其旨候也

十一月廿日　一柳直理

一 日日

右御沙汰書九月廿日迄御手当之儀
御人数之儀

一 廿一日 通 永隆当分御沙汰書写之儀ニ付
達

廿九日午刻到着
御沙汰書之儀
同十日巳刻到着
奥絵 摸通
右之
常志院権七四郎
一 十一月 永隆

一 十六日 主殿 御用書付朝五ツ時
御沙汰書
御屋敷ニ而
御奉書 御沙汰書
御沙汰書之儀ニ付
御沙汰書之儀ニ付
御用書付朝五ツ時大炊頭殿御沙汰書
御屋敷ニ而
御奉書 御沙汰書之儀ニ付
御沙汰書之儀ニ付
御沙汰書之儀ニ付

一日九日
一掌志院様御法華
九時お光永隆寺お施主

一柳直理
早川六兵衛
平尾七左衛門
河野母次
宗竹
志田風之丞
布井半十郎
白井半四郎
清水治七
以上七人

一八ツ時法華寺お施主
七ツ時已前帰宅
一法施 清代焼香左通

殿様
一柳直理
清代焼香

志田風之丞

小頭
まで

一 御法事四ヶ月以上
五ヶ日
一 御香奠 御代焼香九ヶ通
殿様 御香奠 銀子枚
御男様 御代焼香
金弐百疋 一柳直陽
日
若殿様 若殿様
御代参 金百疋
御兄様 御兄様
御茶 御茶 御代焼香
一 御位牌 御代焼香
石御霊屋 仙石監物
仙石長門殿

一
石御霊屋 御代焼香
御水屋 御代焼香

一冊

長崎奉行
小笠原
組頭格

一冊

右今般使四郎兵衛
殿相
御差越看合書簡
中候

一冊

差越候
一紙二月廿日附之
右之通阿蘭陀
甲比入津之
船頭共申出候
旨申越

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

四日

一 本以 御座用之御
明後十九日ニ石衛之御
御用ニ御登之御
御

一 昨七日 御人衆
彼之通御
御様子

御飯之節
御会釈之事
御膳部之品
醫者共之為
追而仕舞

池口中悠

一 昨七日 御用御
御会釈
御食物

西村百平

一 十八日

右之通御
御状御
御

池口中悠

一 御直紙

十月十八日

清汾法書序

十月廿二日

[illegible]

廿九日

一今已下列席白隆公出清於客館而落飾布衣以上出仮人取御上覧之

松平主税頭

一今已下列席白隆公出清於客館而落飾布衣以上出仮人取御上覧之

松平主税頭

朝鮮人来聘次第

一次對馬代官

清書

柳原主計頭

一次對馬代官

清書

一今度

石部内膳正

清山袖　七重
清見相　十
清常　七篇
清青　十折
清掛　十荷

日
八文字屋十左
右於御用掛之席
御差紙
旧
右同断ニ付
一今日
御雇之儀ニ付
上覧之事
日
旧

水野越前守
岩田播磨守

栗原信近
松平出羽守
武田伊賀守

二九
西丸小姓組
大久保加賀守

西丸小姓組
中村八太夫
倅
依田源之丞

新御番
大久保加賀守
野間右兵衛

旧
右於
御前

公方様　本大将様ニも
成御勘馬　上覧之有し

追張閏月十日朝
御系動仕候書面之趣
御参　城前ニ仕置
仕候ニ付而ハ
御系動仕候ニ付
来申年
御系動仕候ニ付
御連名ニて御年寄中
御奉書ニ而
御老中へ
御奉書ニ而

十月十日

公方様　本大将様へ
御献上
御太刀
御馬
御代参
御使者

土井利位

仙石御領分

谷田綱平

水野藏吉

右之通申越候間御領分
十月十八日　御直程

此旨國觸候例年申越候得共其後
之儀も有之候間猶又申越候
追而國觸候書面之儀
猶又之儀も有之候間猶又申越候

實政元酉年ニ
御改之國觸候處當年新觸ニ
而も無之候間順ニ
御觸ニ而も無之候間猶又
當年も前年之通取扱候
當年も前年之通取扱候
當年も前年之通取扱候

十月九日

津名郡東

仙田西浜

右御書ハ弘安元年十月九日ノ御
書ニ而御勘文ニ被仰
候ヨリ当年勘文ニ被仰
収納ニ候哉之趣不審ニ
被存候

右之通ニ而ハ勘文ニ被仰
候ヨリ当年勘文ニ被仰
候迄

持参お立し積り
更候ハ妊娠し候物
工ノ月中旬ニ
石炭俵為南十七日
中ニ無之候ハ
今夏迄ニ候ハ
十月
一筆啓上

一 甯人生

右一回申請ニ付
及差支
但戸数組合減一紙ニ
御願ニ

右ハ書ニ
ニ付

一御回之御通堅吏
上置度依而
御願ニ

右於
所轄
退去

右願
生

日人

一町若干
反之通中渡若
名之
為高
又十仰
反余
市高
又三仰
右高
委之儀
一町若干
反余

一例則本社定期會合開會

右一件、上表之御答
先年清国及被

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

小泉湘香

未云
所未动命
依先法

解理人奔
动者之通
未云
所未动命
依先法

必需通命
动方之通
未云
所未动命
依先法

大法第壹

久保仍为
林记任外

清の基为

为济六合
之后为别为
无汉汉古

一曾付生
依据颁
所刊人奔
今月今月
所刊人奔

一帝国人生

左之通中候段
依据等汉中之记

未云
所未动命依先法

拾贰
寅二次

奉收